

議会のスマート化に向けた今後の方向性について

1. 令和5年度の方向性について

(1) 委員会のオンライン化

◆課題

- ①改選後新体制においても引き続き、代表者会議や議会運営委員会、行政部門別常任委員会について、オンラインを活用して、試行又は模擬開催する必要がある。
- ②意思確認や賛否確認の時間を短縮する方法を検討する必要がある。

◆取組内容

①オンライン会議の試行又は模擬開催

引き続き、代表者会議や議会運営委員会、行政部門別常任委員会をオンラインを活用して、試行又は模擬開催し、課題を整理し、検討する。

②マニュアルの更新

意思確認や賛否確認の時間を短縮する方法について、全国都道府県議会議長会の取組等を注視し、オンライン委員会出席マニュアルを更新する。

◆所管

- ①代表者会議、議会運営委員会、委員長会議
- ②議会改革推進会議役員会（スマート議会の在り方検討プロジェクト会議）

(2) 本会議のオンライン化

◆課題

本会議や全員協議会について、オンラインを活用して、試行又は模擬開催し、課題を抽出する必要がある。

◆取組内容

本会議や全員協議会をオンラインを活用して試行又は模擬開催し、抽出された課題を整理し、検討する。

◆所管

代表者会議、議会運営委員会

(3) 資料閲覧システムの活用(ペーパーレス化)

◆課題

議場配付資料については現在、データで送信する方向で検討中である。

「便利さ」を目的とするペーパーレス化について、資料閲覧システムを積極的に活用し、ペーパーレス化を進める必要がある。

◆取組内容

資料閲覧システムにペーパーレス化が可能な資料を追加し、ペーパーレス化を進める。

◆所管

議会改革推進会議役員会

(4) 全議員による貸与タブレット端末使用の日常化

◆課題

①全議員が日常的に貸与タブレットを使用している状況になっていないことから、さらなる使用を促す必要がある。

②資料閲覧システムの操作等のサポート体制をより充実させる。

◆取組内容

①議会事務局が作成する資料を用いる会議や正副議長レクにおいて、資料閲覧システムを活用する。〈例：代表者会議、議会運営委員会、広聴広報会議〉

②新議員研修会において、資料閲覧システムの操作説明会を行うとともに、不明な点等は各会派のスマート議会の在り方検討プロジェクト会議メンバーが対応する。

◆所管

①各会議

②スマート議会の在り方検討プロジェクト会議

2. 中長期的課題について

○政務活動費のスマート化

政務活動費アプリの実証実験について検討する。

○一人一台パソコンとの整理

貸与タブレットのみとする場合、一人一台パソコンの機能をタブレットに付与させる必要がある。

○議事予定のデジタル化

最もベストな方法を検討する。

○議員用グループウェアの導入

最もベストな方法を検討する。